

学習指導計画・年間授業計画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース								C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学習内容		時数																								
教科名	国語		科目名	論理国語																																							
単位数	2	学科	看護科	学年	2年	該当するコース・科→									●																												
教科書・副教材・(発行所)																																											
① 新論理国語 (三省堂) ② 新論理国語 学習課題ノート (三省堂) ③ 常用漢字ダブルクリア (尚文出版) ④																																											
学習の重点目標																																											
言葉による見方・考え方を働きかせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。																																											
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度																																				
	①定期検査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施	①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや検査後に自己評価や 振り返りを実施																																								
評価の基準																																											
知・技	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)																																			
	定期検査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解している。	定期検査と小テストの合計得点が55~79点である。	定期検査と小テストの合計得点が30~54点である。	定期検査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。																																							
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり組むことができていない。																																			
主体性・態度	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についている。			応用的な問題にあまり取り組むことができない。																																			
予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。 振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。																																											
★中間考査 1 論点を整理するために「若者に友達プレッシャー」 ★期末考査 2 正しく推論するために「一人で爆笑」 3 事例の意味を探るために「それぞれのしつくりくる言葉」 ★中間考査 4 構成を吟味し説得力を高めるために「落語の中の経済学」 5 信頼性を吟味する「なぜ私たちは労働するのか」 ★期末考査 6 隠れた前提を探すために「地球上の『旅人』」 1 論点を整理するために「他者を理解する」 ★期末考査 3 事例の意味を探るために「多様な視点から考える」 6 隠れた前提を探すために「誰かの靴を履いてみること」 ★期末考査 6 隠れた前提を探すために「スポーツとナショナリズム」																																											
総時間数																	60																										

学習指導計画・年間授業計画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース								C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学習内容		時数
教科名	国語		科目名	文学国語															
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科→									●				
教科書・副教材・(発行所)																			
① 教科書：文学国語（大修館：文国704）																			
② 問題集：文学国語 学習ノート（文国 704準拠）																			
③																			
④																			
学習の重点目標																			
①文章の内容、構成、展開。描写などをとらえ、解釈できる読解力につける。																			
②他作品などと比較して読解し、文体の特徴や効果を考えたり、解釈を深めたりできるようにする。																			
③解釈を他者と共有し、解釈の多様性について考える力をつけ、ものの見方、考え方、感じ方を深める。																			
④体験に基づき、構成、表現などを工夫して、文学的文章を書く力を養う。																			
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度												
	国語一般常識や文章の読解力を、小テストと定期考査で評価する。			考えたことを的確に表現できる力を、授業中の問い合わせに対する解答やレポート・感想文作成、話し合いの様子等で評価する。			自ら進んで学習に取り組み、向上し続けようとする意欲を、授業中の態度や提出物、学期ごとの振り返りで評価する。												
評価の基準																			
知・技	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)		C (努力を要する状況)													
思・判・表	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解している。			定期考査と小テストの合計得点が55~79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30~54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。										
	探究的な課題やグループ活動で、自分の考えを他者に伝わる適切な表現で述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動で、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動で、あまり自分の考えを表現することができていない。													
主体性・態度	文章読解後の考え方や感想を、レポートや感想文等で他者によく伝わるよう的確に表現することができる。			文章読解後の考え方や感想を、レポートや感想文等である程度伝わるように表現することができている。		文章読解後の考え方や感想を、レポートや感想文等で表現することができない。													
	学習に主体的に取り組み、積極的に発言したり、提出物を期限内に出したりすることができている。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。													
振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかりと活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができない。														
総時間数																		62	

学習指導計画・年間授業計画

学習指導計画・年間授業計画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース								C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学習内容		時数
教科名	数学		科目名	数学A													※1年次の数学Iの続きの内容		
単位数	3	学科	看護科	学年	2年	該当するコース・科→									●		第4章 図形と計量		9
教科書・副教材・(発行所)																第1節 三角比			
① 教科書:新編数学I (実教出版:数I 707)																1 三角比			
② 教科書:新編数学A (実教出版:数A 707)																2 三角比の性質			
③ 問題集:ラウンドノート数学I (実教出版)																中間考査		1	
④ 問題集:ラウンドノート数学A (実教出版)																3 三角比の拡張		16	
学習の重点目標																第2節 三角比と図形の計量			
① 数学的な見方・考え方を働きかせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。																1 正弦定理			
② 家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																2 余弦定理			
																3 三角形の面積			
評価の趣旨																期末考査		1	
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度									4 空間図形の計量		21	
	①定期考査の出来具合 問題は問題集の内容を中心に作問	②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施		①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③グループ活動や発表の内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートやノートの提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価									第5章 データの分析			
評価の基準																第1節 データの整理			
評価の基準	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)									1 度数分布			
				B +	B -											2 代表値			
評価の基準	知・技			定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。			定期考査と小テストの合計得点が55~79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30~54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。			3 四分位数と四分位範囲		1	
																中間考査			
評価の基準	思・判・表			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができない。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。			第2節 データの分析		17	
																1 分散と標準偏差			
評価の基準	知・技			応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。			応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができない。			2 データの相関			
																数学A			
評価の基準	思・判・表			予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。			第1節 場合の数と確率			
																1 集合と要素			
評価の基準	知・技			振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかりと活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができない。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。			2 場合の数		14	
																3 順列			
評価の基準	思・判・表			振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかりと活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができない。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。			4 組み合わせ			
																第2節 確率			
評価の基準	知・技			振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかりと活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			振り返るべき内容をあまり考えことができない。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。			1 事象と確率			
																2 確率の基本性質		6	
評価の基準	思・判・表			振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかりと活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			振り返るべき内容をあまり考えことができない。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。			3 独立な試行とその確率			
																4 条件つき確率と乗法定理			
評価の基準	知・技			振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかりと活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			振り返るべき内容をあまり考えことができない。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。			5 期待値			
																期末考査		1	
総時間数																88			

学習指導計画・年間授業計画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース								C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学習内容		時数
教科名	理科	科目名	化学基礎														序章 化学と人間生活		1
単位数	3	学科	看護科	学年	2年	該当するコース・科→									●	4月～5月	1章 物質の構成 1節 物質の探究 2節 物質の構成粒子	3	
教科書・副教材・(発行所)																4			
① 教科書：化基705「高校化学基礎」（実教出版） ② 副教材：高校化学基礎カラーノート（実教出版），高校化学基礎エブリィノート（実教出版） ③ ④																			
学習の重点目標																			
物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働きかせ、見通しをもって観察、実験を行うなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。(1)日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に着けるようにする。(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。(3)物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。																			
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度								第1学期	6月～7月	2章 物質と化学結合 1節 イオン結合 2節 共有結合	8	
	①定期考查の出来具合 考查の問題は教科書や副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施			①定期考查毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②振り返りシートや課題提出の記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考查後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価												8
評価の基準																			
知・技	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)								第2学期	8月～9月	3節 金属結合 3章 物質の変化 1節 物質量と化学反応式	2	
	定期考查と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。			定期考查と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考查と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。												18
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができない。								第3学期	10月～11月	2節 酸と塩基	15	
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができない。												17
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。								2月～3月	12月～1月	3節 酸化還元反応	17	
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかりと活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができない。												1
総時間数																	77		

学習指導計画・年間授業計画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学習内容		時数			
教科名	理科		科目名	生物基礎																
単位数	3	学科	看護科	学年	2年	該当するコース・科 →				●										
教科書・副教材・(発行所)																				
① 高校生物基礎・高校生物基礎エブリイノート・アクセスノート生物基礎・(実教出版) ② ③ ④																				
学習の重点目標																				
自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を化学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す																				
評価の趣旨	知識・技能		思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度										16 1			
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小テストを実施		①課題レポートの内容 単元毎に探究課題を実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてのグループ活動及び発表を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 単元毎に自己評価・振り返りを実施										8 1			
	評価の基準																	9 1		
知・技	A (十分満足できる状況)		B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)										16 1			
	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から発展まで万遍なく理解できている。		定期考査と小テストの合計得点が55~79点である。				定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。										10 1			
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。		探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができない。										16 1			
	発展的な内容も意欲的に学習し、身近な事物・現象に対し科学的な見方や考え方方が身についている。		発展的な内容も学習し、ある程度の科学的に見方や考え方方が身についている。				発展的な内容を学習することができない。										10 1			
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言できている。		真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				学習面・活動面においてあまり取り組む気持ちがない。										82 1			
	振り返るべき内容をきちんと考え、次の取り組みにしっかりと活かすことができている。		振り返るべき内容は考えられているが、次の取り組みに活かすことがあまりできていない。				振り返るべき内容をあまり考えられていない。										82 1			
総時間数																		82 1		

学習指導計画・年間授業計画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学習内容				時数		
教科名	外国語【英語】	科目名	英語コミュニケーションII														Lesson 1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan				3	
単位数	3	学科	看護科	学年	2年	該当するコース・科→								●		Part 1				3		
教科書・副教材・(発行所)																		Part 2		3		
① LANDMARK Fit English Communication II (啓林館) ② LANDMARK Fit English Communication II WORKBOOK (啓林館) ③ ④																		Part 3		3		
学習の重点目標																						
基本的な文法事項を理解し、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、学んだ事項を応用しながら、自分の意見や考えを表現し、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。																						
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度														
	小テスト及び定期考査による合計得点で評価する。 授業内で取り上げた内容とワークブックから出題する。			提出物の出来具合や授業内での発言やグループ活動での発表内容で評価する。				提出物の提出状況や授業内での発言や授業への参加などの積極性を評価する。														
評価の基準																						
知・技	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)															
				B +											B -							
定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基礎を理解し、それを応用することができる。			定期考査と小テストの合計が55~79点であるとき。			定期考査と小テストの合計が30~54点であるとき。			定期考査と小テストの合計が30点未満であり、学んできた事項の基本的な知識があまり定着していないとき。												5	
グループ活動や発表で積極的に発言でき、自分の意見をわかりやすく述べることができる。			課題の内容で不正確な部分はあるが、学んだ事項を使いながら、正しい文章を作ろうとしているとき。			課題や提出物に取り組めておらず、授業内でも既習事項の適切な表現を使うことができないとき。															5	
課題の内容から、学んだ事項が身についていると見受けられたとき。																					5	
提出物が期限内に提出されており、自己の学習内容が定着していると考えられるとき。			提出物を最終提出期限内に提出できている。既習事項が定着していると見受けられるとき。			提出物が提出されておらず、自己の学習が定着していることが見受けられないとき。															5	
主体的に授業や活動に取り組んでおり、授業内でも積極的に発言できている。			授業内の発言をためらう傾向にあるが、授業やペア、グループでの活動に参加しようとしている。			ペアワークやグループ活動や発表にあまり積極的でない。参加しようという意欲が見られない。															5	
総時間数																		84				

学習指導計画・年間授業計画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学習内容		時数		
教科名	保健体育	科目名	体育																	
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科→								●						
教科書・副教材・(発行所)																				
① 現代高等保健体育(大修館書店) ② Active Sports2023 [総合版] (大修館書店) ③ ④																				
① 現代高等保健体育(大修館書店) ② Active Sports2023 [総合版] (大修館書店) ③ ④																				
学習の重点目標																				
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																				
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度								第1学期			5		
	①各種の運動ごとに実施する実技テスト(記録)の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③3学期のみ定期考査の出来具合			①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み			①授業中の態度や意欲 ②授業への準備(服装・体操)に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度									4月～5月		○実技試験	10	
評価の基準	A(十分満足できる状況)			B(概ね満足できる状況)			C(努力を要する状況)								第2学期	6月～7月		○実技試験	13	
	B+			B-												8月～9月		○実技試験	13	
知・技	実技テストと新体力テストの合計が80点以上であり基本的な技術が習得できている。3学期のみ実技テストと定期考査。			実技テストと新体力テストの合計が55～79点である。3学期のみ実技テストと定期考査。			実技テストと新体力テストの合計が30点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。3学期のみ実技テストと定期考査。								第3学期	10月～11月		○実技試験	11	
	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。 応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。			グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができない。									12月～1月		○実技試験	13	
主体性・態度	運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。			真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。									2月～3月		●期末考査	15	
	振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができない。									総時間数				
																55				

学習指導計画・年間授業計画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学習内容		時数													
教科名	看護	科目名	疾病のなり立ちと回復の促進													薬理 第1編 1章 薬物に関する基礎知識 2章 医薬品の適正な使用に必要な基礎知識		4													
単位数	3	学科	看護科	学年	2年	該当するコース・科→								●		病理 第1章 呼吸器疾患		4													
教科書・副教材・(発行所)															微生物 第8章 免疫		4														
① 看護学入門3 薬理学(メヂカルフレンド社) ② 看護学入門4 病理学(メヂカルフレンド社) ③ 看護学入門4 疾病の成り立ち(メヂカルフレンド社) ④															中間考査		1														
学習の重点目標															薬理 第3編 1～3章 薬物をめぐる医療安全 第1編 3章 神経系・筋に作用する薬物		4														
看護の見方・考え方を働きかせ、疾病の成り立ちと回復の促進に関する実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、看護の実践に必要な資質・能力を育成することを目指す。 (1) 疾病の成り立ちと回復の促進について体系的・系統的に理解するようとする。 (2) 基本的な課題を発見し、看護倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) よりよい看護実践を目指して自ら学び、多様な人々の健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む															病理 第2章 循環器疾患 第3章 消化器疾患		4														
微生物 第8章 免疫 第9章 感染と予防															期末考査		1														
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度								薬理 第4章 代謝系・内分泌系に作用する薬物 第5章 炎症・アレルギー・免疫に作用する薬物		5														
	①定期考査 1・2学期…中間考査40点 期末考査40点 3学期…期末考査80点 ②確認テスト20点 前回までの授業内容について出題	①課題(ワークプリント)の内容 单元ごとに授業内容に関する課題(ワークプリント)を実施・提出 ②グループワーク・発表の内容 探究課題についてグループワークを実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント等は指定通りファイルに綴じる ③ふり返り 定期考査後に実施する自己評価やふり返り、課題の提出状況を評価									病理 第4章 血液・造血器疾患 第5章 内分泌・代謝疾患		6																	
微生物 第9章 感染と予防 第10章 感染の原因となる病原微生物															中間考査		1														
評価の基準	A(十分満足できる状況)			B(概ね満足できる状況)			C(努力を要する状況)								薬理 第6章 循環器に作用する薬物 第7章 血液・造血器器官に作用する薬物		6														
	B+	B-									病理 第6章 腎・泌尿器疾患 第7章 脳・神経疾患		7																		
知・技	定期考査と確認テストの合計得点が80点以上であり、基本的な知識の理解することができている。			定期考査と確認テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と確認テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。								微生物 第10章 感染症の原因となる病原微生物		4														
	課題に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすくまとめることができます。			課題に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、まとめることができる。			課題にあまり取り組むことができない。								期末考査		1														
思・判・表	グループワークに積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすく伝えることができる。			グループワークに取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、伝えることができる。			グループワークにあまり取り組むことができない。								薬理 第9章 消化器系に作用する薬物 第10章 泌尿・生殖器系に作用する薬物		3														
	予習・復習に取り組み、授業にも積極的に発言し参加できている。			予習・復習に取り組み、授業に参加できている。			予習・復習に取り組むことができず、授業への参加も積極的ではない。								病理 第8章 女性生殖器疾患・乳腺疾患 第9章 運動器疾患		4														
主体性・態度	毎時間ふり返りができ、授業のポイントについて適切な内容を表現することができている。			授業の内容についてふり返りができている。			授業の内容についてふり返りができていない。								微生物 第11章 臨床病理検査		4														
															期末考査		1														
総時間数															85																

学習指導計画・年間授業計画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース				C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学習内容		時数					
教科名	看護		科目名	基礎看護																
単位数	3	学科	看護科	学年	2年	該当するコース・科 →						●								
教科書・副教材・(発行所)																				
①患者さんの情報収集ガイドブック(メヂカルフレンド社) 看護学生のための臨地実習ナビ(照林)																				
②基礎看護学入門基礎看護Ⅲ(メヂカルフレンド社)																				
③基礎看護(文部科学省) 看護が見える①②(メディックメディカ)																				
④看護技術プラクティス(学研)																				
学習の重点目標																				
看護の見方・考え方を働きかせ、実践的・体験的学習活動を行うことを通して、看護の基礎となる資質・能力を育成することを目指す。																				
①看護について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。																				
②看護に関する基本的な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。																				
③よりよい看護実践を目指して自ら学び、看護の課題解決に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。																				
評価の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度															
評価の趣旨	①定期考査 1・2学期…中間考査40点 期末考査40点 3学期…期末考査80点 ②確認テスト20点 前回の授業内容について出題	①レポートや課題の内容 単元ごとに授業内容に関する 課題(ワークプリント)を 実施・提出 ②グループワーク・発表の内容 探究課題についてグループ ワークを実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント、ワークプリントは指定通りファイルに綴じ る ③ふり返り 自己評価ふり返り課題の提出 状況やふり返り内容を評価	⑧月～⑨月	b 創傷管理(無菌操作・包帯法) c 第2章 疾患の経過と患者の看護 I a 治療・処置に伴う看護 I b 第1章 臨床看護の特徴 記録の書き方 II 呼吸器疾患患者の看護 中間考査	6														
	⑧月～⑨月	b 創傷管理(包帯法) 与薬(内服・坐薬) c 第2章 疾患の経過と患者の看護 I a 治療・処置に伴う看護 I b 第2章 臨床看護活動と患者・家族の理解 記録の書き方 期末考査	12																	
評価の基準	A(十分満足できる状況)	B(概ね満足できる状況)	C(努力を要する状況)	⑩月～⑪月	b フィジカルアセスメント 注射法 c 第4章 症状を示す患者の看護 I a 治療・処置に伴う看護 I b 第6章 繼続看護と多様な場における看護 臨地実習について 中間考査	8														
	定期考査と確認テストの合計得点が80点以上であり、基本的な知識の理解することができている。	定期考査と確認テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と確認テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と確認テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。	⑩月～⑪月	b フィジカルアセスメント 注射法 c 第4章 症状を示す患者の看護 I a 治療・処置に伴う看護 I b 第6章 繼続看護と多様な場における看護 II 臨地実習について 期末考査	5													
知・技	課題やレポートに積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすくまとめることができ。 グループワークに積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすく伝えることができる。	課題やレポートに取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、まとめることができる。	課題やレポートにあまり取り組むことができていない。	⑫月～⑬月	b 注射法 c 第4章 症状を示す患者の看護 I a 治療・処置に伴う看護 I b 呼吸器疾患患者の看護 II 記録の書き方	10														
	予習・復習に取り組み、授業にも積極的に発言し参加できている。	予習・復習に取り組み、授業に参加できている。	予習・復習に取り組めず、あまり前向きな気持ちで授業に参加できていない。	⑫月～⑬月	b c I a I b 呼吸器疾患患者の看護 期末考査	4														
主体性・態度	毎時間ふり返りができ、授業のポイントについて適切な内容を表現することができている。	授業の内容についてふり返りができる。	授業の内容についてふり返りができていない。	⑭月～⑮月	b c I a I b 呼吸器疾患患者の看護 期末考査	3														
	総時間数	151																		

学習指導計画・年間授業計画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース								C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学習内容		時数
教科名	看護		科目名	成人看護													消化器疾患患者の看護 第1章 基本的知識 (I 構造と機能 II 症状と病態生理 III 検査 IV 治療・処置)		8
単位数	2	学科	看護科	学年	2年	該当するコース・科→									●		中間考査		1
教科書・副教材・(発行所)																消化器 第2章 主な疾患とその治療 (口腔・食道の疾患、胃・十二指腸の疾患) 第4章 消化器疾患患者の看護 (主な疾患患者の看護)		13	
① 看護学入門 8 成人看護 I 消化器疾患患者の看護、循環器疾患患者の看護 (メヂカルフレンド社)																期末考査		1	
学習の重点目標																消化器 第2章 主な疾患とその治療 (胃・十二指腸、腸・腹膜疾患) 第4章 消化器疾患の看護		7	
成人期にある対象の生活、保健および疾病について理解させ、成人看護に関する知識と技術を習得させるとともに、その看護を行うために必要な基礎的な能力と態度を育てる。																中間考査		1	
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度									消化器 第2章 主な疾患とその治療 (肝・胆・脾・脾臓・肛門疾患) 第4章 消化器疾患の看護		10	
	①定期考査 1・2学期…中間考査40点 期末考査40点 3学期…期末考査80点 ②確認テスト20点 前回の授業内容について出題			①課題の内容 単元ごとに授業内容に関する課題を実施・提出 ②グループワーク・発表の内容 探究課題についてグループワークを実施 ③知識に基づいた思考の確認 (考査問題中の記述)			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業ノート、ファイル、課題は指定通りに綴じる。 授業ノート、ファイルの提出。 ③ふり返り 定期考査後に行う自己評価やふり返り、課題の提出状況を評価									中間考査		1	
知・技	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)		C (努力を要する状況)											消化器 第2章 主な疾患とその治療 (心不全、ショック、不整脈、心臓弁膜症) 第4章 循環器疾患の看護		11
	定期考査と確認テストの合計得点が80点以上であり、基本的な知識の理解することができている。			定期考査と確認テストの合計得点が55~79点である。		定期考査と確認テストの合計得点が30~54点である。			定期考査と確認テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。								循環器 第1章 基本的知識 期末考査		5
思・判・表	課題やグループワークに積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすくまとめることができる。			課題に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、まとめることができる。			課題にあまり取り組むことができない。									循環器 第2章 主な疾患とその治療 (虚血性心疾患) 第4章 循環器疾患患者の看護		5	
	授業で得た知識に基づき、考えをまとめ表現することができる。			グループワークに取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、伝えることができる。			グループワークにあまり取り組むことができない。									循環器 第4章 循環器疾患患者の看護		1	
主体性・態度	予習・復習に取り組み、授業にも積極的に発言し参加できている。提出物を毎回期日までに出せる。			予習・復習に取り組み、授業に参加できている。促すと提出物を出すことができる。			グループワークにあまり取り組むことができない。提出物を出すことができない。									期末考査		1	
	毎時間ふり返りができ、授業のポイントについて適切な内容を表現することができている。			授業の内容についてふり返りができている。			授業の内容についてふり返りができていない。									総時間数		59	

学習指導計画・年間授業計画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース				C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学習内容		時数														
教科名	看護	科目名	老年看護										4月～5月																
単位数	2	学科	看護科	学年	2年	該当するコース・科→						●	第1学期																
教科書・副教材・(発行所)																													
①	看護学入門11 老年看護(メヂカルフレンド社)												中間考査		1														
②													第2章 高齢社会の医療と看護																
③													I 少子・高齢社会の理解 II 高齢者の問題																
④													III 高齢者に対する保健・医療・福祉の現状と2025年に向けた改革		10														
学習の重点目標														IV 高齢者看護の機能と役割															
高齢者の加齢に伴う身体的・心理的・社会的特徴について理解し、日常生活の障害や疾患をもつ高齢者の援助を学ぶ。														第5章 高齢者に多い疾患と看護		(高齢者に多い慢性疾患、悪性疾患、感染症)													
期末考査															1														
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度							第2章 高齢社会の医療と看護															
	①定期考査 1・2学期…中間考査40点 期末考査40点 3学期…期末考査80点 ②確認テスト20点 前回の授業内容について出題			①課題の内容 単元ごとに授業内容に関する課題を実施・提出 ②グループワーク・発表の内容 探究課題についてグループワークを実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント、課題は指定通りファイルに綴じる。授業ノートの提出。 ③ふり返り 定期考査後に実施する自己評価やふり返り、課題の提出状況を評価							I 少子・高齢社会の理解 II 高齢者の問題															
評価の基準														III 高齢者に対する保健・医療・福祉の現状と2025年に向けた改革															
知・技	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)							IV 高齢者看護の機能と役割															
	定期考査と確認テストの合計得点が80点以上であり、基本的な知識の理解することができている。			定期考査と確認テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と確認テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。							第5章 高齢者に多い疾患と看護		(高齢者に多い慢性疾患、悪性疾患、感染症)													
思・判・表	課題に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすくまとめることができる。			課題に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、まとめることができる。			課題にあまり取り組むことができない。							中間考査		1													
	グループワークに積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすく伝えることができる。			グループワークに取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、伝えることができる。			グループワークにあまり取り組むことができない。							期末考査		1													
主体性・態度	予習・復習に取り組み、授業にも積極的に発言し参加できている。提出物を毎回期日までに出せる。			予習・復習に取り組み、授業に参加できている。促すと提出物を出すことができる。			グループワークにあまり取り組むことができない。提出物を出すことができない。							第3章 高齢者看護の原則															
	毎時間ふり返りができ、授業のポイントについて適切な内容を表現することができている。			授業の内容についてふり返りができている。			授業の内容についてふり返りができていない。							I 高齢者の特性を踏まえた看護の視点															
期末考査														II 高齢者の特性を踏まえた看護の場															
(高齢者に多い慢性疾患、悪性疾患、感染症)														第5章 高齢者に多い疾患と看護															
(高齢者に多い慢性疾患、悪性疾患、感染症)														中間考査		1													
期末考査														期末考査		1													
総時間数														47															

学習指導計画・年間授業計画

学習指導計画・年間授業計画